

令和6年度活動報告

令和6年4月1日から令和7年3月31日

特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会

1 令和6年度活動の概要

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、法律上の第5類に移行された令和5年度には、コロナ関連のすべての助成金が失われたことに加え、当協会の経常収益を大きく左右する、人材派遣、物品販売の収益事業が全く回復せず不調を極めたことから、200万円を越す欠損が生じました。

令和6年度には、「安定した財源の確保」「レクリエーション有資格者の養成」「東日本大震災の被災者支援」の3つの大きな方針を定めて事業を展開してまいりましたが、「安定した財源の確保」については、2事業年度連続して、経常収益に200万円以上の欠損を生じるという危機的な経営状況となりました。

「レクリエーション有資格者の養成」については、「レクリエーション・インストラクター」と「スポーツ・レクリエーション指導者」の養成を行いました。レクリエーション・インストラクター養成事業は、前年に引き続き、郡山市を会場に、スポーツ・レクリエーション指導者養成事業は、例年通り福島市を会場に開催しましたが、両事業とも、十分に参加者を集めることができませんでした。加えて、登録者数についても満足できる結果には及びませんでした。

その他の事業についても、参加者数の伸び悩みや減少、人材派遣イベントや講師依頼事業数の減少、物品販売の不調等、レクリエーション運動自体が委縮しているかのような状況が続き、このことが結果としての欠損金に結び付いてきました。

対して、昨今の物価状況による支払い単価の上昇を受け、計上経費がかさむことが予測されたため、職員の勤務時間の調整を含め、経費を抑える経営に努めました。また、日本協会をとおした支援事業を積極的に活用し、少しでも協会に益となる事業経営を図りました。

「東日本大震災の被災者支援」については、前年度に引き続き、「ふるさとふくしま交流・相談支援事業」の助成金により、「笑顔 Again！ 応援隊」の活動を継続してまいりました。参加者が高齢化し減少する一方である現状ながら、期待も寄せられる事業でありました。

2 令和6年度事業実施状況

1 事業

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
1 レクリエーションの普及・奨励事業			
1 県民スポーツ・レクリエーション講座等開催事業			
1 あそびの素材市場開催事業			
1 話題のスポーツ「モルック」（指導員養成講習会） 話題の「モルック」講習会を開催し、福島県協会を立ち上げてもらったのち、団体正会員として迎え入れる 評価基準： モルック協会の成立と、当協会団体正会員としての参加 実績評価： 参加者22名 モルック協会設立を呼び掛けているが、設立に至っていない		6月15日	福島市
2 レクリエーションセミナー開催事業			
1 グループワーク・トレーニング グループワーク・トレーニング（GWT）を広げ、外部からの人材養成事業を確保する 評価基準： 参加者数 10名以上 実績評価： 参加者数 11名（110%）		11月24日	福島市
2 コミュニケーションワーク研修会 レクリエーション活動をコミュニケーションワークととらえ、それを活用できるレクリエーション指導者を拡大する 評価基準： 参加者数 20名以上 実績評価： 参加者数 20名（100%）		10月19日	郡山市
3 （新規）ホスピタリティ講習会 レクリエーション支援におけるホスピタリティの深化を図る 評価基準： 参加者数 10名以上 実績評価： 参加者数 19名（190%）		12月8日	福島市
3 その他の県民レクリエーション講座開催事業			
2 生涯スポーツ普及推進事業			
1 元気アッププログラム普及推進事業（大会等にあわせて開催）			
1 ラダーゲッター教室（「健康スポレク教室」として日レク助成） 日本協会が進める健康スポーツ「ラダーゲッター」の普及を図る 評価基準： 教室参加者数 20名以上、新規資格登録者数 10名以上 実績評価： 教室参加者数 13名（65%）、 新規資格登録者数 2名（20%）		6月2日	福島市
2 チャレンジ・ザ・ゲーム教室 遊びが運動になる、運動が遊びになるチャレンジ・ザ・ゲームを様々な場面で活用できる普及員を拡大する 評価基準： 教室参加者数 20名以上、新規資格登録者数 10名以上 実績評価： 教室参加者数 24名（120%）、 新規資格登録者数 24名（240%）		9月21日	郡山市
3 マンカラ教室 世界標準のボードゲームとしてのマンカラを普及できる普及員を拡大し、マンカラの売り上げに貢献できるようにする 評価基準： 教室参加者数 20名以上、新規資格登録者数 10名以上 年間のマンカラ売り上げ数 20台以上 実績評価： 教室参加者数 26名（130%）、 新規資格登録者数 1名（5%）、 年間のマンカラ売り上げ数 10台（50%）		3月1日	福島市
2 子どもの体力向上事業 あそんで元気アップ講師無償派遣事業（福島県スポーツ振興基金助成）を活用し、レクリエーション活動を活用して、幼児から生徒までの体力向上を図り、福島の子どもたちを日本一元気な子どもたちにする 評価基準： 受託件数 30件以上 実績評価： 申請件数 39件（130%）、 受託件数 25件（83%）*予算超過で受託限界		通年	県内各地

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
	3（新規）健康寿命延伸のための健康スポレク広場開催支援事業（日レク助成事業） 県内の老人クラブにはたらきかけながら、健康寿命の延伸につながる「健康スポレク広場」（日本レクリエーション協会助成事業）を拡大する 評価基準： 受託件数 4件以上 実績評価： 受託件数 3件（75%）	7月～1月 各会場5回	福島市 あさひ台 国見町 二本松市 東和
	4 その他の生涯スポーツ普及推進事業		
3 音楽レクリエーション普及推進事業			
	1 音楽レクリエーション資料作成事業 日本レクリエーション協会が進める音楽レクリエーションにかかわる資料（動画）を作成し、県内における普及を図る。 評価基準： 年度内における動画完成 実績評価： 動画完成、YouTubeでの配信開始	8月27日	福島大学
	2 その他の音楽レクリエーション普及推進事業		
	4 全国一斉あそびの日支援事業 日本レクリエーション協会が進める全国一斉あそびの日キャンペーンに賛同し、参加事業を拡大する。 評価基準： 参加事業 30事業以上 実績評価： 参加事業 26事業（87%）	9月6日 ～11月10日	県内各地
	5 チャレンジふくしま県民運動推進事業 福島県が進めるチャレンジ福島県民運動に賛同し、参加事業を拡大する。 評価基準： 参加事業 30件以上 実績評価： 参加事業 38件（127%）	通年	県内各地
	6 健康長寿ふくしま推進事業 福島県が進める健康長寿ふくしま推進事業に賛同し、担当部署のニーズに合わせた活動を展開する 評価基準： 会議等への参加協力 実績評価： 会議参加1回	通年	
	7 レクリエーション普及振興功労者等顕彰事業 各種表彰事業へ該当する者を推薦する 評価基準： 下記1における表彰実施と2、3への推薦 実績評価： 達成（100%）	適時	
	1 福島県レクリエーション協会会長表彰事業	8月24日	郡山市
	2 日本レクリエーション協会理事長表彰推薦事業	9月6日	栃木県
	3 文部科学省生涯スポーツ振興功労者推薦事業		1名推薦
	4 その他の顕彰事業（総務省「エイジレス社会参加章」）		推薦中
	8 その他の普及・奨励事業		
2 レクリエーションに関する各種大会等の開催事業			
	1 第44回福島県レクリエーション大会開催事業 第44回福島県レクリエーション大会をふくしまレクリエーションフェスタ2024（福島県スポーツ振興基金助成事業）として開催する 評価基準： 関係事業を含めた参加者数 延3,500名以上 実績評価： 参加者数 延2,700名（77%）	8月24日 ～11月 2日	郡山市 ほか
	2 チャレンジ・ザ・ゲーム&おうちで60秒チャレンジ記録会2024開催事業 チャレンジ・ザ・ゲームとおうちで60秒チャレンジの記録会を開催し、記録登録を進める 評価基準： 参加者数 30名以上、記録申請数 50件以上 実績評価： 参加者数 35名（117%） 記録申請 36件（72%）	9月21日	郡山市
	3 第13回ラダーゲッター交流選手権大会開催事業 日本レクリエーション協会が進めるラダーゲッターの大会を開催し、健康スポーツとしてのラダーゲッターを広く普及する 評価基準： 参加者数 30名以上、うち一般参加者 10名以上 実績評価： 参加者数 13名（43%）、うち一般参加者 2名（20%）	6月2日	福島市

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
4	<p>第13回マンカラ交流選手権大会開催事業【福島県青少年会館連携事業】</p> <p>福島県青少年会館との連携事業として、世界標準のボードゲームであるマンカラの普及を図る</p> <p>評価基準： 小・中学生の参加者数 50名以上、 成人の参加者数 30名以上、うち一般参加者10名 以上</p> <p>実績評価： 小・中学生の参加者数 41名（82%） 成人の参加者数 25名（83%）、 うち一般参加者21名（210%）</p>	3月1日	福島市
5	<p>全国健康福祉祭「ウォークラリーチーム」推薦派遣事業</p> <p>福島県老人クラブ連合会と連携し、全国健康福祉祭にウォークラリーチームを派遣する</p> <p>評価基準： 予選会参加 10チーム以上、派遣 1チームを確保</p> <p>実績評価： 予選会参加 7チーム（70%）、 派遣 1チーム（100%）</p>	予選会5/26 全国大会 10/19～ 10/22	予選会 福島市 全国大会 鳥取県
6	<p>スポレクEXPO～健康スポーツ・フェスティバル開催事業（日レク事務委任事業）</p> <p>日本レクリエーション協会が実施するスポレクEXPOに賛同し、事業を実施する</p> <p>評価基準： 事業数 1事業以上、参加者数 延500人以上</p> <p>実績評価： 事業数 1事業（100%）、 参加者数 延1,000名（200%）</p>	9月14日	郡山市
7	その他の大会開催事業		
3 レクリエーションに関する人材の養成・資格審査・登録事業			
1	<p>レクリエーション・アカデミー2024開催事業</p> <p>日本レクリエーション協会が認定し、当協会の指導者会員となる レクリエーション・インストラクターを養成する</p> <p>評価基準： レクリエーション・アカデミーとスポレクアカデミーで 延30名以上</p> <p>実績評価： レク・アカデミー修了者 12名（両事業参加率 70%）</p>	7/14 7/28 8/11 8/25 9/15 9/29 10/13 10/27	郡山市
2	<p>スポレク・アカデミー2024開催事業</p> <p>日本レクリエーション協会が認定し、当協会の指導者会員となる スポーツ・レクリエーション指導者を養成する</p> <p>評価基準： レクリエーション・アカデミーとスポレクアカデミーで 延30名以上</p> <p>実績評価： スポレク・アカデミー参加者 9名（両事業参加率 70%）</p>	1/11,12 1/25,26 2/8,9 2/22,23	福島市
3	<p>レクリエーション・サポーター養成セミナー開催および講習会認定促進事業</p> <p>日本レクリエーション協会が認定するレクリエーション・サポーターを育成する 講習会を開催し、レクリエーション指導者への入り口を拡大する</p> <p>評価基準： 県内に広く開催を呼びかけ、講習会 3件以上、 登録者30名以上</p> <p>実績評価： 講習会開催 1件（11/23現在）、 講習会認定 3件（100%） 登録者 24名（80%）</p>	4/21、9/28、 9/29、 11/18、3/2	郡山市 ほか
4	<p>レクリエーション有資格者研修会開催事業</p> <p>日本レクリエーション協会認定資格を有する指導者に対しそのスキルアップを 図るための研修会を開催する</p> <p>評価基準： 参加者数 20名以上</p> <p>実績評価： 参加者数 17名（85%）</p>	7月21日	福島市
5	<p>（新規）レク・インストラクタースキルアップガイダンス開催事業</p> <p>日本レクリエーション協会認定資格を有するレク・インストラクターが、 可能なスキルアップに挑戦できるよう、スキルアップ制度のあらましと、 学習内容について解説し、実力の底上げを図る</p> <p>評価基準： 参加者数 20名以上</p> <p>実績評価： 参加者数 中級受験 4名、準上級 4名、上級8名 計16名（80%）</p>	6月16日	福島市
6	<p>講師トレーニング事業</p> <p>レクリエーション指導者養成事業における講師を養成するためのトレーニングを 行い、レクリエーション指導者の実力を底上げする</p> <p>評価基準： 参加者数 10名以上</p> <p>実績評価： 参加者数 12名（120%）</p>	8月4日	福島市
7	<p>レクリエーション有資格者資格審査・登録事業</p> <p>レクリエーション・インストラクターおよび、スポーツ・レクリエーション指導者の 新規登録を進める</p> <p>評価基準： 一般養成における新規登録者 延30名以上</p> <p>実績評価： 17名（57%）</p>	5/18、7/15、 11/23、3/9	福島市
8	その他の人材養成等事業		

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
4 レクリエーションに関する支援者・援助者の派遣事業			
1 講師等派遣事業費			
1 通常講師派遣事業 外部からの講師派遣依頼に応じて、適切な講師を派遣する（人材派遣、収益事業） 評価基準： 有料派遣件数 20件以上、 スタッフ等派遣事業と合わせて50万円以上の収益 実績評価： 有料派遣件数 15件（75%） 収益 121,550円（24%）		通年	県内各地
2 KOKOプロ365による派遣事業（日本レクリエーション協会無償派遣事業） 派遣先新規開拓のため、日本レクリエーション協会が経費を負担する無償派遣事業 評価基準： 派遣件数 5件 実績評価： 派遣件数 2件（40%）		通年	県内各地
2 スタッフ等派遣事業 外部からのイベント開催、およびスタッフ派遣依頼に応じて、適切な対応を図る（人材派遣、収益事業） 評価基準： 有料による派遣件数 5件以上、 講師派遣事業と合わせて50万円以上の収益 実績評価： 有料派遣件数 4件（80%） 収益 147,000円（29%）		通年	県内各地
3 その他の人材派遣事業			
5 レクリエーションに関する組織の育成・強化事業			
1 地域レクリエーション協会設立入会支援事業 地域（市町村）レクリエーション協会の設立を支援し、当協会の団体正会員として迎え入れる 評価基準： 喜多方市レクリエーション協会の設立入会、 および新規支援事業 1件以上 実績評価： 喜多方市レクリエーション協会の設立入会（0%）、 および新規支援事業 0件		通年	
2 新種目団体設立入会促進事業 新しい種目団体にはたらきかけ、当協会の団体正会員として迎え入れる 評価基準： 新規団体正会員の入会 1件以上 実績評価： 新規団体正会員の入会 0件（0%）		通年	
3 種目指導者養成講習会等支援事業 団体正会員が開催する、指導者・審判等を新規に養成講習会等への支援を行う 評価基準： 支援事業 1件以上 実績評価： 支援事業 0件（0%）		通年	
4 その他の組織育成・強化事業			
6 レクリエーションに関する調査・研究・啓発・宣伝事業			
1 レクリエーションふくしま発行事業 レクリエーション有資格者、および当協会に関連する機関団体等に対して、イベント情報を主とした情報を発信し、事業参加者数を確保する 評価基準： 発信回数 4回以上 実績評価： 発信回数 4回（100%）		4月、7月、 11月、2月	
2 ホームページ等更新事業 ホームページ、Facebook、Instagram、X（旧Twitter）、LINE、YouTube等を随時更新し、多くの県民に最新情報を発信する 評価基準： 毎月1回以上の更新 実績評価： 順調に更新中 Facebookフォロワー 273 Instagramフォロワー 247 Xフォロワー 84 LINE友だち 105 YouTube登録 1,316		通年	
3 福島県レクリエーション協会将来計画検討協力者会議 若手有資格者を中心とした協力者会議を開催し、福島県レクリエーション協会の将来像を検討する 評価基準： 年間2回以上 実績評価： 未開催（0%）		通年	
4 外部資金導入に関する調査事業 WEB情報から、外部資金の情報を入手し、活用に関する検討を行い、可能な限り外部資金の活用を図る 評価基準： 確認作業として年間6回以上 定期的に毎月確認 評価基準： 6/19 一般財団法人 YS市庭コミュニティ財団助成金 9/20 年賞はがき寄付金配分事業 1/31 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会社会貢献事業		通年	
5 その他の調査・研究・啓発・宣伝事業			

大項目の事業（定款第5条）		開催期日等	備考
中項目の事業			
小項目の事業			
7 レクリエーションに関する諸団体との連携・調整・協力事業			
1	団体正会員事務局長会議開催事業 団体正会員の経営の先頭にある事務局長当事務担当者の参集を得て、当協会の情報を提供し、それぞれの団体の情報交換を行うとともに、コンプライアンスの意識を高める 評価基準： 年間1回以上の開催 実績評価： 6月8日に開催（100%）	6月8日	福島市
2	課程認定校連携支援事業 日本レクリエーション協会が指導者資格取得の課程を認定している専門学校に対して支援を行うとともに、新規課程認定校獲得のため、情報提供等を行う 評価基準： 各課程認定校に対し、年間1回以上の支援（講師派遣等） 実績評価： 各課程認定校に対し、年間1回以上の支援事務局職員の派遣等 3校中2校（67%）	通年	
3	北海道・東北ブロック協議会派遣事業 北海道・東北ブロック協議会の会議に、役職員を派遣する 評価基準： 事務局1名以上の派遣 実績評価： 事務局2名を派遣（旅費の1/2を助成）（100%）	6月23日 ～24日	山形県
4	全国運営代表者会議派遣事業 日本レクリエーション協会が開催する全国運営代表者会議に、役職員を派遣する 評価基準： 事務局1名以上の派遣 実績評価： 事務局2名を派遣（旅費の1/2を助成）（100%）	12月3日 ～4日	東京都
5	その他の連携等事業		
8 レクリエーションに関する用具・書籍等の斡旋貸与事業			
1	レクリエーションサービスセンター運営事業 日本レクリエーション協会のカタログ等を配布し、レクリエーション用具等の物品販売販売（収益事業）を行う 評価基準： 700,000円以上の収益 実績評価： 532,150円（2/28現在）（76%）	通年	
2	用具等貸与促進事業 当協会のレクリエーション用具等を貸与することで、県民のレクリエーション活動の可能性を拡大する 評価基準： 貸与件数 10件以上、うち新規 2件以上 実績評価： 貸与件数 19件、うち新規 2件（11/23現在）	通年	
3	その他の斡旋貸与事業		
9 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			
1	福島県レクリエーションボランティア育成・活性化サポートセンター運営事業 子ども、高齢者に対するレクリエーションボランティアの活性化を図るため、各種相談を受け付ける窓口機能を果たす 評価基準： 相談件数 10件以上 実績評価： 相談件数 10件（100%）	通年	
2	震災復興支援事業 1 笑顔Again! 応援隊派遣事業 （福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業助成） 福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業を活用し、東日本大震災による避難者に対する支援活動として、復興団地におけるサロン活動を支援する 評価基準： 支援件数 年間15回以上 実績評価： 支援件数 21回（140%）	通年	福島市 北中央 福島市 飯坂 二本松市 石倉
	2 その他の震災復興支援事業		
3	インターンシップ受け入れ事業 NPOへの理解を促進するため、福島県等が実施しているインターンシップの受け入れを行う 評価基準： 受け入れ許諾 1件以上 実績評価： 受け入れ許諾 1件1名（福島南高校生）（100%）	通年	
4	その他の事業 1 事務局備品更新事業 部品の製造が終了した印刷機について更新する。 助成のめどが立たず、未更新		
	2 その他事業		

2 管理

1 監査会	5月5日	福島市
2 総会	5月18日	福島市
3 理事会	6/29、 11/23、3/9	福島市
4 一般管理	通年	

3 各事業項目の評価及び今後の課題

1 レクリエーションの普及・奨励事業

レクリエーションの普及・奨励の観点からは、「参加者数」こそが求められる成果であるため、昨年度までの反省に基づき、広報に力を入れましたが、残念ながら、まだ、主催者として希望するほどの参加者が集まったといえるほどの結果には至りませんでした。一般の県民に対して、さらに広く情報を届けるための工夫を講じてまいります。

2 レクリエーションに関する各種大会等の開催事業

コロナ禍以前と同様の形態で、各種大会を開催することができましたが、参加者数は伸びませんでした。県大会に関しては、県の中央に位置する郡山市をメイン会場に、各種団体にとって都合の良い会場での開催を可能にして実施しましたが、目標の3,000人には至りませんでした。種目数、活動人口の減少に加え、新しい参加者が増えないことも、大きな要因であると考えられます。今後は、各活動種目団体における参加者の「若返り」を強く意識した、日常的な活動が必要だと考えます。

3 レクリエーションに関する人材の養成・資格審査・登録事業

「日本レクリエーション協会公認指導者」の新規養成に関しては、受講者の高齢化とともに、受講者数に頭打ちが見られます。特に、スポレク指導者養成講習会に関しては、2年連続で受講者数が少なく、事業としての成立が危ぶまれました。また、中級、準上級、上級レクリエーション・インストラクターへのスキルアップに関しても、上位資格受験者の合格率は高いものの、全体数としての伸びが鈍く、今後は、有資格者の意識改革と、新規受講者の若返りに取り組むことが課題です。

4 レクリエーションに関する支援者・援助者の派遣事業

講師・スタッフ等の派遣事業は、人材派遣事業として、事業収益の大きな割合を占めますが、その依頼は、件数、金額ともに、未だにコロナ禍以前までには回復できずにあります。その中であっても、日本レクリエーション協会が実施する無償派遣事業「KOKO プロ 365」を活用した事業や、当協会が福島県スポーツ振興基金を活用して実施している無償派遣事業により積み上げてきた実績を、事業収益に結びつけていくことが課題です。

5 レクリエーションに関する組織の育成・強化事業

地域レクリエーション協会の設立支援は、喜多方（北会津地域）における協会設立が足踏みしています。時間をかけながら息の長い支援を続けてまいります。

種目団体への支援に関しては、新規参加者を募ることや、新規指導者を養成することを目的とした講習会等の共同開催についての希望がなく、残念な結果でした。

6 レクリエーションに関する調査・研究・啓発・宣伝事業

この項目は、「調査・研究」と、「広報・宣伝」の二つの中身があります。

「広報・宣伝」の中身としては、指導者会費を納入しているレクリエーション指導者への「レクリエーションふくしま」での情報提供、一般県民に対する、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、X 等における情報提供があります。有資格者、おおよび関係者に対する広報は、日本レクリエーション協会のデータベースを活用して、電子メールやポータルサイトから、ほぼ計画通りに展開できました。

一方、関係者以外の一般県民に対する広報・PR については、各事業の参加者数が十分とは言えないことから、宣伝力の低さが目立ちました。報道機関の皆様のご協力を仰ぐほか、関係各機関との連携を深める中で、県民に対する広報・宣伝に、さらに力を入れていきたいと考えています。

もう一つの中身である。調査・研究については、若手指導者の協力者を立ち上げ、当協会の中期計画の立案を行う計画でしたが、思うように勧めることができませんでした。次年度に再挑戦したいと考えています。

7 レクリエーションに関する諸団体との連携・調査・協力事業

団体正会員事務局長会議、課程認定校会議とも計画通り開催できました。日本協会関連の会議には、事務局を派遣しました。

8 レクリエーションに関する用具・書籍等の斡旋貸与事業

当協会の収益事業である「物品販売」に関わる、レクリエーションサービスセンターの運営は、主力だった書籍、用具の取り扱いがなくなり、大変厳しい状況が続いています。その状況を改善するため、市町村、および関係機関に対して、日本レクリエーション協会のカタログを年間 800 冊ほど配布し、物品販売収益を上げていく努力を続けていますが、現在のところ、市町村等の予算次第という状況であり、コントロールできずにいます。

9 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

レクリエーション・ボランティアの活性化は、他の事業との連携の中で進めています。例年と変わらない件数の、ボランティア、レクリエーション・ボランティアに関する相談や問い合わせがあり、そのうち何件かは、講師・スタッフ等の派遣につながっていているため、今後も継続してまいります。

震災復興支援事業に関しては、徐々に参加者が減っており、事業見直しの必要もありませんが、復興事業が継続されていることもあり、参加者からの希望がある限りの継続が必要だと思われまます。

4 事業の内訳

1 助成事業

（公財）福島県スポーツ振興基金助成

レクリエーション指導者養成事業
あそんで元気アップ講師無償派遣事業

福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業

震災復興支援事業 笑顔 Again！ 応援隊派遣

toto 助成を活用した日レクからの助成事業

健康スポレク広場「ラダーゲッター教室」
健康スポレク広場 3会場
スポレク EXPO・健康スポーツ・フェスティバル

- 2 共催事業 8件
- 3 後援事業 13件
- 4 認定講習会 15件（44回）



5 **令和6年度に福島県レクリエーション協会から派遣した外部組織の役職**

公益財団法人日本レクリエーション協会 理事、 同 運営協力者会委員
福島県スポーツ推進審議会 委員 福島県生涯学習審議会 委員
生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体
並びにスポーツ推進委員功労者表彰推薦選考委員会 委員
チャレンジふくしま県民運動推進協議会 副会長
公益財団法人福島県都市公園・緑化協会評議員、 同 理事
公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 監事
健康長寿ふくしま会議 委員